

経営情報学研究科 人材育成目標・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程では、高度情報化時代における企業経営の在り方を追究し、経営・会計・情報の三分野の専門知識の相互浸透、融合化を達成し、高度な複合的専門職業人並びに研究者を養成することを目的としている。

博士後期課程では、経営学的研究と情報学的研究とのより高度の総合化を意図した先端的・学際的経営情報学ないし戦略的経営情報学という新しい専門分野を確立し、組織・企業における各分野の横断的・統合的な管理・運営能力を有するより高度な複合的専門職業人並びに研究者を養成することを目的としている。

博士前期課程

1. 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
2. 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
3. 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
4. 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

博士後期課程

1. 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
2. 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
3. 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
4. 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
5. 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

経営情報学研究科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

九州情報大学大学院経営情報学研究科の教育理念は、学部教育の基礎の上に、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することであり、経営情報学を構成する経営・会計・情報の三分野を中心とした教育を行う。

この教育理念を基に、博士前期課程では、高度情報化時代における企業経営の在り方を追究し、専門知識の相互浸透や融合化を達成し、高度な複合的専門職業人並びに研究者を養成することを目的としている。

博士後期課程では、経営学的研究と情報学的研究とのより高度な総合化を意図した先端的・学際的経営情報学ないし戦略的経営情報学という新しい専門分野を確立し、組織・企業における各分野の横断的・統合的な管理・運営能力を有するより高度な複合的専門職業人並びに研究者を養成することを目的としている。

教育課程の編成および実施の方針

博士前期課程

1. 教育課程は、経営学、会計学、税法学、情報学の四部門で編成されている。
2. 講義科目は1・2年次生のどちらも選択可能な科目として配置し、研究及び修士論文の作成の指導に関わる演習科目は必修科目としている。修了要件として、講義科目16単位以上と演習科目16単位（各学年8単位）を取得し、かつ修士論文を提出したうえ、審査及び試験に合格することを課している。
3. 研究指導については、修士論文作成に重点を置いている。2年間の研究スケジュールを整えることと、論文の質を向上させるために、毎年の中間発表会の参加を義務付けている。また、修了年度の後半では、指導教員と副指導教員による複数指導体制をとっている。
4. 高度な複合的専門職業人を養成するため、経営学、会計学、税法学、情報学の四部門に関連した資格取得や博士後期課程への進学に向けた支援を行っている。
5. 社会人学生の受け入れ態勢として、夜間の開講や、休暇期間の集中開講などを行っている。

博士後期課程

1. 教育課程の編成方針として、経営情報学の教育・研究並びに分野間の連携に不可欠な重要科目を配置している。
2. 講義科目は全ての年次において選択可能な科目として配置し、研究並びに博士論文の作成の指導に関わる演習科目は必修科目としている。修了要件は、講義科目8単位以上と演習科目12単位（各学年4単位）を取得し、かつ博士論文を提出して審査及び試験に合格することを課している。
3. 研究指導については、博士論文作成に重点を置いている。3年間の研究スケジュールを整えることと、論文の質を向上させるために、毎年の中間発表会の参加を義務付けている。また、研究内容の多様化・高度化に対応するために、2年次後半から指導教員と副指導教員による複数指導体制をとっており、2年次終了時点で研究状況を記した報告書の提出を義務付けている。
4. 社会人学生の受け入れ態勢として、夜間の開講や、休暇期間の集中開講などを行っている。

経営情報学研究科 入学者選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

経営情報学研究科の教育理念である「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与すること」を共有し、真摯に研究に取り組み、研究成果を論文にまとめ社会に還元する意欲をもった人材を受け入れている。

博士前期課程

1. 経営・会計・情報の分野の融合型教育研究に適応できる人。
2. 経営情報学分野に対する明確な問題意識を有している人。
3. 修士論文を作成する能力と意欲を有している人。

博士後期課程

1. 独自性のある研究テーマを有している人。
2. 新しい専門分野を確立する能力と意欲を有している人。
3. 研究成果を社会に還元できる能力と意欲を有している人。
4. 博士論文を作成する能力と意欲を有している人。